

---

# 道内他都市との社会指標の比較

(札幌市を除く)

---

平成24年2月

江別市

# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査目的.....	1
2 比較対象都市.....	1
3 比較対象指標.....	2
4 グラフ（レーダーチャートの見方）.....	3
<b>II 調査結果の概要</b> .....	<b>4</b>
1 10分野における江別市の状況.....	4
2 社会指標から見える江別市の強み・弱み.....	5
<b>III 調査結果</b> .....	<b>7</b>
1 人口・世帯分野.....	7
2 都市形成分野.....	8
3 経済基盤分野.....	9
4 にぎわい・交流分野.....	10
5 生活基盤分野（地価含む）.....	11
6 安全分野.....	12
7 健康・医療分野.....	13
8 福祉・社会保障分野.....	14
9 教育分野.....	15
10 行政基盤分野.....	16
<b>IV 資料編</b> .....	<b>17</b>
1 分野別比較都市指標一覧表.....	17
2 社会指標出典一覧表.....	21
3 分析に活用した年度別人口一覧表.....	22

# I 調査概要

## 1 調査目的

平成 26 年度からの「新しい総合計画」の策定を進めるにあたり、北海道内の類似した都市および近隣周辺市と比較し、江別市がどのような水準にあるのかを各種統計データ（社会指標）から明らかにするものです。

## 2 比較対象都市

■札幌広域圏 4 市（千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市）

■北海道内の類似都市 2 市（小樽市、北見市）

■江別市隣接および産業構造が同じ都市 1 市（岩見沢市）

### 【比較対象都市の選定事由】

比較対象都市は、産業構造や人口規模が近い全国の都市と比較することも考えられますが、関東圏や関西圏が多く、江別市とさまざまな面で状況異なります。このため、今回は、道内の類似した 2 都市および産業構造が同じで隣接した 1 都市を対象としました。

さらに、江別市と同様の環境にある札幌市を中心とした札幌広域圏の各市と比較することで、江別市の特徴を客観的に明らかにして、今後の計画内容の検討にあたっての参考とします。

※本報告では、札幌市は、札幌広域圏都市のひとつであり、江別市と通勤や通学、買い物、通院等で関係性は深い都市ですが、人口 190 万人を超える政令指定都市であり、規模が異なるため、比較対象都市より除外しています。

選定事由	団体名	平成22年人口	面積(km <sup>2</sup> )	総務省 類似団体区分
札幌広域圏	北海道江別市	123,722	187.57	Ⅲ-1
	北海道千歳市	93,604	594.95	Ⅱ-3
	北海道恵庭市	69,384	294.87	Ⅱ-1
	北海道北広島市	60,353	118.54	Ⅱ-1
	北海道石狩市	59,449	721.86	Ⅱ-1
道内 類似団体	北海道小樽市	131,928	243.30	Ⅲ-1
	北海道北見市	125,689	1427.56	Ⅲ-1
隣接自治体	北海道岩見沢市	90,145	481.10	Ⅱ-1

※総務省 類似団体区分

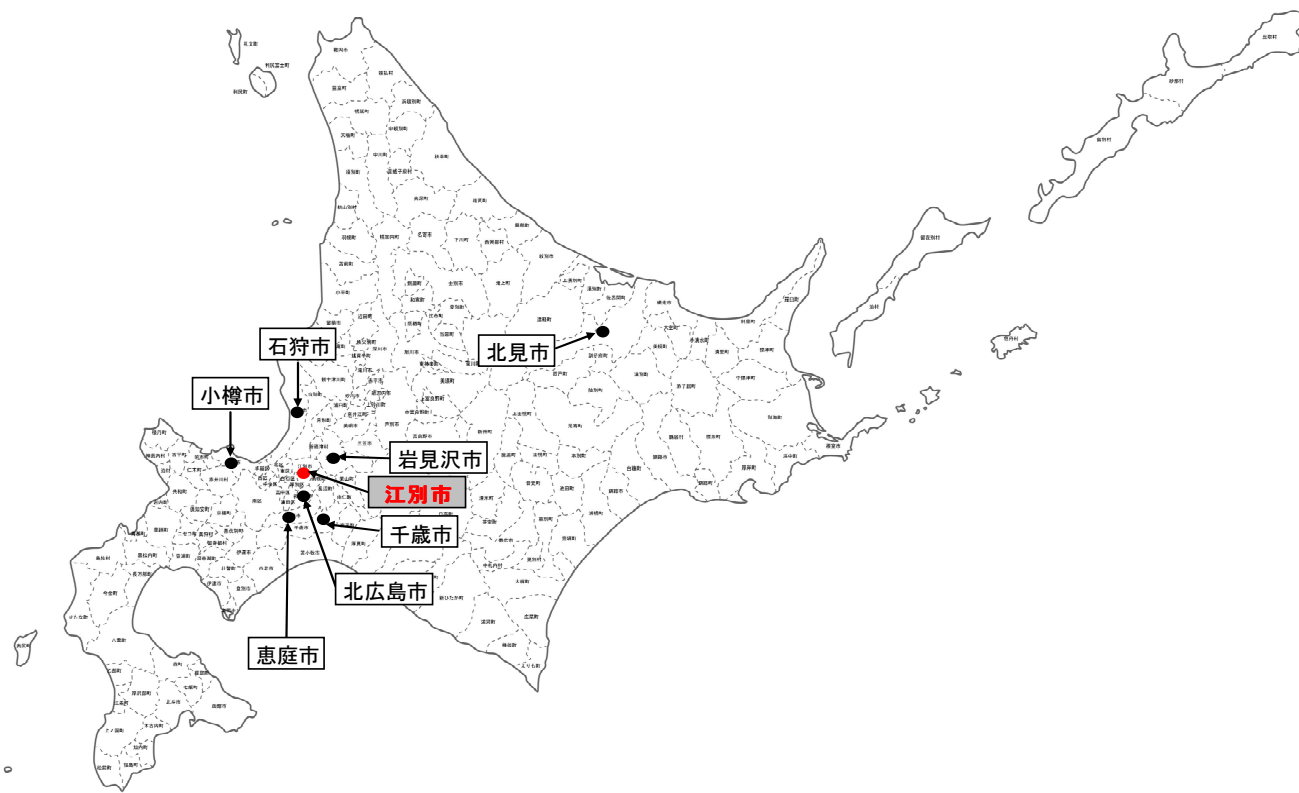
Ⅲ-1（人口100,000人～150,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次95%未満かつⅢ次55%以上の団体）

Ⅱ-1（人口 50,000人～100,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次95%未満かつⅢ次55%以上の団体）

Ⅱ-3（人口 50,000人～100,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次95%以上かつⅢ次65%以上の団体）

（江別市が含まれるⅢ-1とⅡ-1は、人口規模が違うだけで、産業構造は同じ区分です）

### <類似対象都市の位置図>



### 3 比較対象指標

次の10分野の62指標で比較を実施しました。なお各市の人口数が異なり、数値の大小だけでは単純に判断できない数値も多く、比率（市民ひとりあたり、人口1万人あたり等）を用いて、自治体規模が異なっても比較できるようにしています。

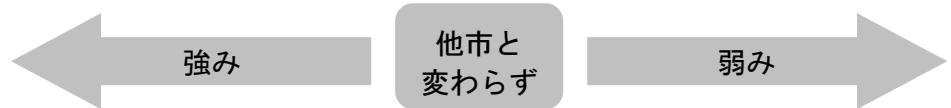
※独自に比率を算定する場合の人口、世帯については、国勢調査の実施年は国勢調査による人口、世帯数を活用し、それ以外については、住民基本台帳の年度末（3月31日）人口、世帯を活用しています。ただし同一統計表内に人口が記載されている場合は、その数値を活用しています。各都市の人口数値については、資料編に記載しています。

- |            |               |         |
|------------|---------------|---------|
| ◇人口・世帯分野   | ◇都市形成分野       | ◇経済基盤分野 |
| ◇にぎわい・交流分野 | ◇生活基盤分野(地価含む) | ◇安全分野   |
| ◇健康・医療分野   | ◇福祉・社会保障分野    | ◇教育分野   |
| ◇行政基盤分野    |               |         |

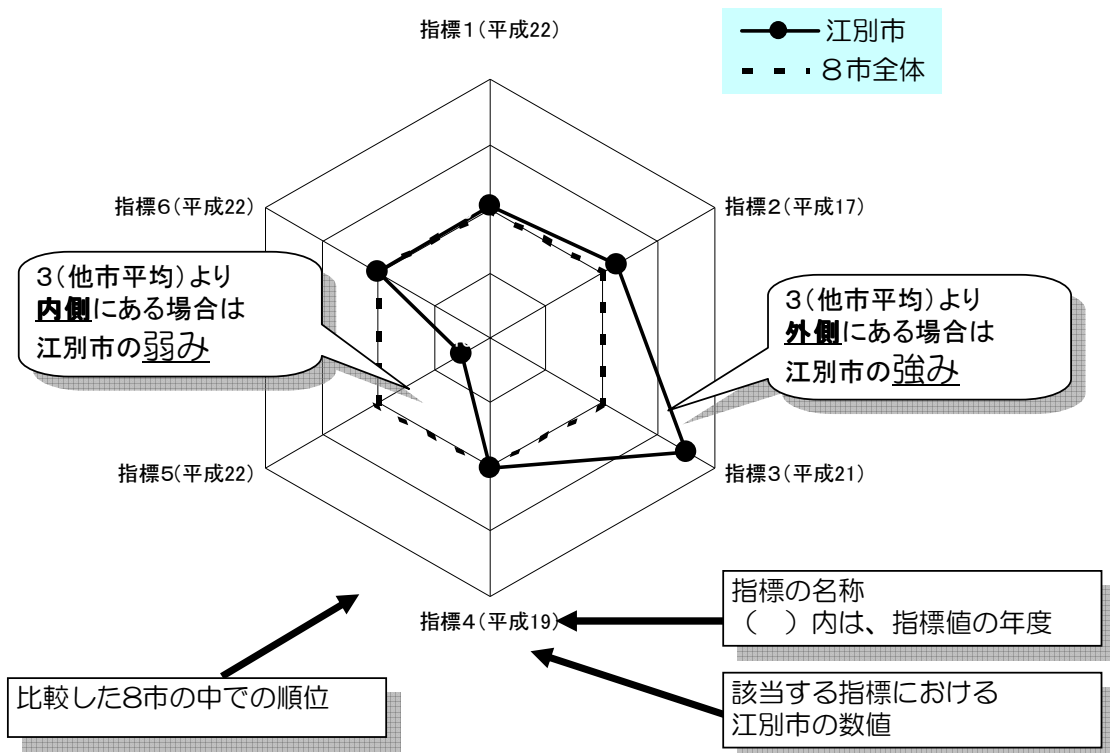
#### 4 グラフ（レーダーチャートの見方）

- 各統計データを偏差値化して、比較都市全体のデータを偏差値 50 とした場合の江別市の状況を掲載しています。また、指標が江別市の『強み』となっているのか、『弱み』となっているのかをわかりやすく見ていただけるように、偏差値 50 を、「3」とした5段階評価で、グラフ化（レーダーチャート）しています。

5段階評価	5	4	3	2	1
偏差値	90	70	50	30	20



- 「3」（偏差値 50）より、外側にある項目は江別市の良さ・強みを示し、内側にある項目は江別市の弱みを示しています。  
※比率や数値が低い・小さいほうが望ましいと思われる項目（例：生活保護率）については、低い・小さいほうが点数（偏差値）が高くなるように設定しています。
- 社会指標名は、出典調査の名称を基本としていますが、一部については、短縮表記やわかりやすいように言い換えている指標があります。
- 順位は、8市全体における江別市の順位を示します（上位が強み、下位が弱み）。
- 社会指標名称の隣に記載している（ ）書きの数字はデータの調査（取得）年数です。データの調査（取得）年数は各指標によって異なります。



- 各社会指標にある数値は、江別市の数値です。

## II 調査結果の概要

### 1 10分野における江別市の状況

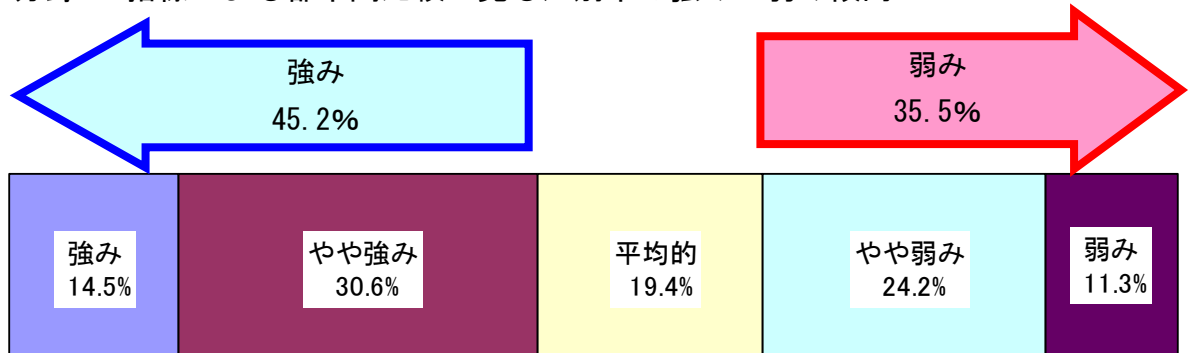
10分野に係る主要指標（62指標）で都市間比較を実施し、5段階で区分した結果、江別市は、強みが45.2%とある一方、弱みが35.5%となっており、やや強みが上回っています（下図参照）。

明確な強み、弱みについては、ともに10%強となっております。

また、分野別に強みと弱みの分野に分かれていることも特徴です。

強みの分野：「都市形成」、「生活基盤(地価含む)」、「安全」、「福祉・社会保障」、「行政基盤」の5分野  
 弱みの分野：「経済基盤」、「にぎわい・交流」の2分野

#### ■10分野62指標による都市間比較に見る江別市の強み・弱み傾向



#### ■10分野別の都市間比較に見る江別市の強み・弱み傾向

単位：指標数

江別市の状況	◎ 強み	○ やや強み	— 平均的	△ やや弱み	× 弱み	指標 合計
偏差値区分	60以上	52.5以上	47.5～52.5	47.5以下	40以下	
人口・世帯		3	2	2	1	8
都市形成	4	1	3			8
経済基盤		1		3	3	7
にぎわい・交流		1		3	2	6
生活基盤・地価	1	4	1	1		7
安全		2	1			3
健康・医療	1	1	1	2		5
福祉・社会保障		4				4
教育		1	2	2	1	6
行政基盤	3	1	2	2		8

## 2 社会指標から見える江別市の強み・弱み

社会指標分析の結果から、江別市の強み、弱み、また指標値だけでは判断できない留意事項は、次のとおりです。

分野	強み	弱み
人口・世帯 7 ページ 参照	<p><b>□合計特殊出生率が低い〔留意〕</b> 比較都市平均 1.22(人)に対して、1.04(人)と少ない状況です。(ただし学生が多いことから、出生率が低くなることに留意が必要です)。</p>	
都市形成 8 ページ 参照	<p><b>□市域が有効に活用可能</b> 市域面積から林野および湖沼面積を除いた人が暮らすことが可能な面積割合が、89.3%となっており、8市平均の 47.0%と比べて有効な土地利用が可能なまちです。</p> <p><b>□9割が都市化された区域に集中</b> 人口の 90.2%が、人口集中地区と呼ばれる都市化された区域に住んでおり、8市平均の 79.9%と比べて都市化が進んでおり、コンパクトシティ※を目指することが可能です。</p>	
経済基盤 9 ページ 参照		<p><b>□人口あたりの産業規模が小さく、事業所数も少ない</b> 農業、工業、商業の生産・販売額、観光入込客数、事業所数等のすべての指標が、8市中 7位か 8位となっており、人口あたりの産業規模が小さくなっています。</p>
にぎわい ・交流 10 ページ 参照		<p><b>□平日昼間の人口が少ない</b> 市外への通勤比率が 49.1%と 8市で最も多く、夜間より昼間の人口が 10%少なく、また 8市では最下位となっており、昼間の人口が少ないベッドタウンの特徴を示しています。このことや札幌市で買い物等をする機会も多くあることから、市内に小売店や飲食店も少なくなっています。</p>
生活基盤 ・地価 11 ページ 参照	<p><b>□ごみの減量化が進み、リサイクル率が高い</b> 環境政策の推進や市民意識の高さ等により、ごみのリサイクル率が 1位、人口1人あたりごみ総排出量も 2位となっています。</p>	

※コンパクトシティ

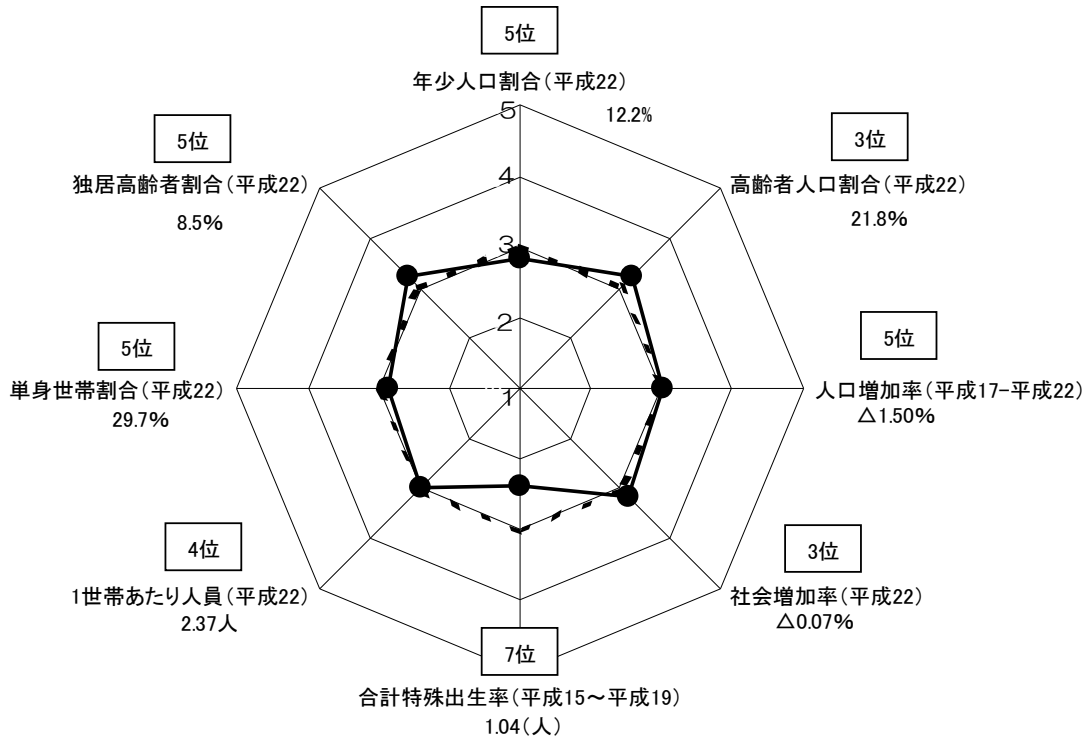
都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地などが活性化され、生活に必要な諸機能が集約された効率性の高い持続可能な都市、またはそれを目指す都市政策のこと

分野	強み	弱み
安全 12ページ 参照	<p><b>□交通事故、火災が少なく、暮らしやすい</b></p> <p>交通事故の少なさは2位、火災の少なさは3位で上位、犯罪の少なさは5位ですがほぼ平均であり、安全面では、強みがあります。</p>	
健康・医療 13ページ 参照	<p><b>□市内に病床、医師が少ない〔留意〕</b></p> <p>人口 10 万人あたり医師数は、120.9 人で、8 市平均 158.8 人に比較すると、少ない傾向にありますが、住宅からの病院までの距離が重要であり、札幌市の病院との距離を踏まえた『医療圏』としての分析が必要です。</p>	
福祉 ・ 社会保障 14ページ 参照	<p><b>□子育てと就労の両立が可能</b></p> <p>保育所待機者数(年度当初の国基準による数)は0であり、子育てしやすい環境となっています。</p> <p><b>□健康な市民</b></p> <p>1人あたりの医療費(国民健康保険)は32.6万円で8市平均34.6万円を下回っています。後期高齢者医療費も106.0万円で8市平均108.9万円を下回り、健康に暮らしています。</p>	
教育 15ページ 参照	<p><b>□教育施設等の水準は平均的〔留意〕</b></p> <p>市民ひとりあたり図書館蔵書数(3.36冊)および貸出数(7.19冊)は5位、小中学校の耐震化率(78.4%)は4位で、8市平均にほぼ同じです。小中学校の学校数が少ない傾向となっていますが、適正な学級数(12~18学級)を確保することが望ましいことから留意が必要です。</p>	
行政基盤 16ページ 参照	<p><b>□借金が少ない財政運営</b></p> <p>市民ひとりあたりの借金残高は、29.7万円で、8市平均44.7万円の3分の2で最も少なく、関連団体の負債(借金)の総額の少なさも2位であり、健全です。</p> <p><b>□限られた職員で効率経営</b></p> <p>市民千人あたり職員数は5.5人で最も少なく、8市平均は6.8名となっています。市民10万人あたり職員数で考えると、8市平均職員数より130名少ない状況にあり、限られた職員数で、効率的な経営が行われています。</p>	



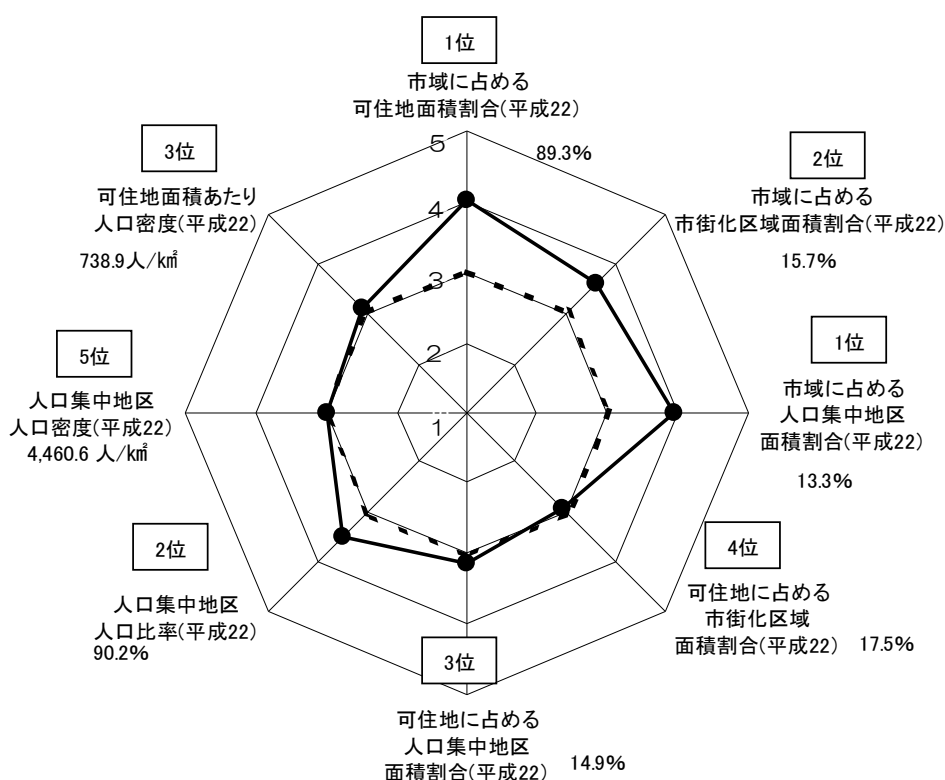
### Ⅲ 調査結果

#### 1 人口・世帯分野



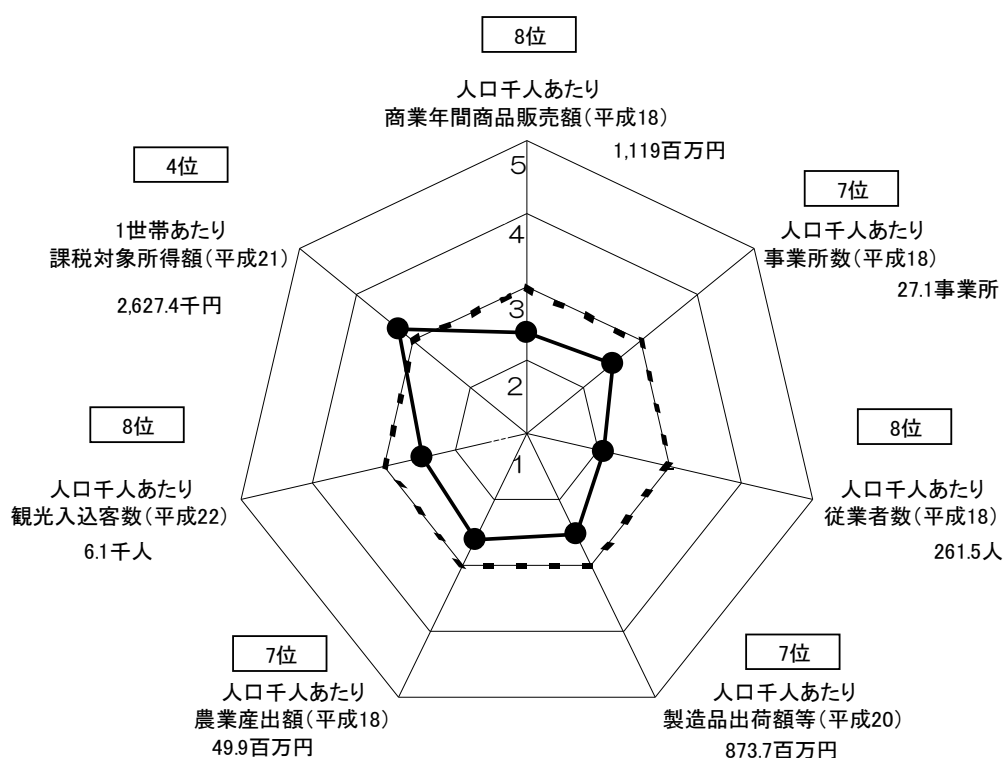
- **【人口増加率】** (平成17年と平成22年の比較)について、江別市は $\Delta 1.50\%$ で、8市の中では、平均的な人口減少状況です(8市平均は、 $\Delta 1.49\%$ )。ただし、人口が減少している6市平均 $\Delta 2.82\%$ と比較した場合には、約半分の減少率となっています。  
参考：①千歳市(2.37%)、恵庭市(2.62%)増加  
②上記以外の6市の人口増加率の平均値は、 $\Delta 2.82\%$
- **【社会増加率】**は、転入、転出による人口増減を示す指標です。平成22年度1年間の増減率では、江別市は $\Delta 0.07\%$ で、8市の中では平均的です。しかし、人口が減少している6市平均 $\Delta 0.26\%$ と比較した場合には、3分の1以下の減少率となっています。  
参考：①恵庭市(0.31%)、千歳市(0.08%)増加  
②上記以外の6市の社会増加率平均は、 $\Delta 0.26\%$
- **【合計特殊出生率】**について、江別市は1.04(人)と8市の中で、7位と少ない傾向にあります(8市平均1.22(人)、日本1.31(人)、北海道1.19(人))。ただし本市には大学生が多く居住しており、出生率が低く算定される傾向にあります。一方で、15歳未満年少人口割合は12.2%で、8市平均値12.7%とほぼ同じであることから、実質の出生率については、平均的と考えられます。
- **【1世帯あたり人員】**(一般世帯)について、江別市は2.37人で、8市の中で、ほぼ平均的です(8市平均は、2.38人)。江別市では、人口が減少している中で世帯数が増加しており、単身世帯の増加、少子化高齢化による核家族(親と子)世帯の人員減少等が影響していると考えられます。(参考 日本全体2.42人 北海道2.21人)

## 2 都市形成分野



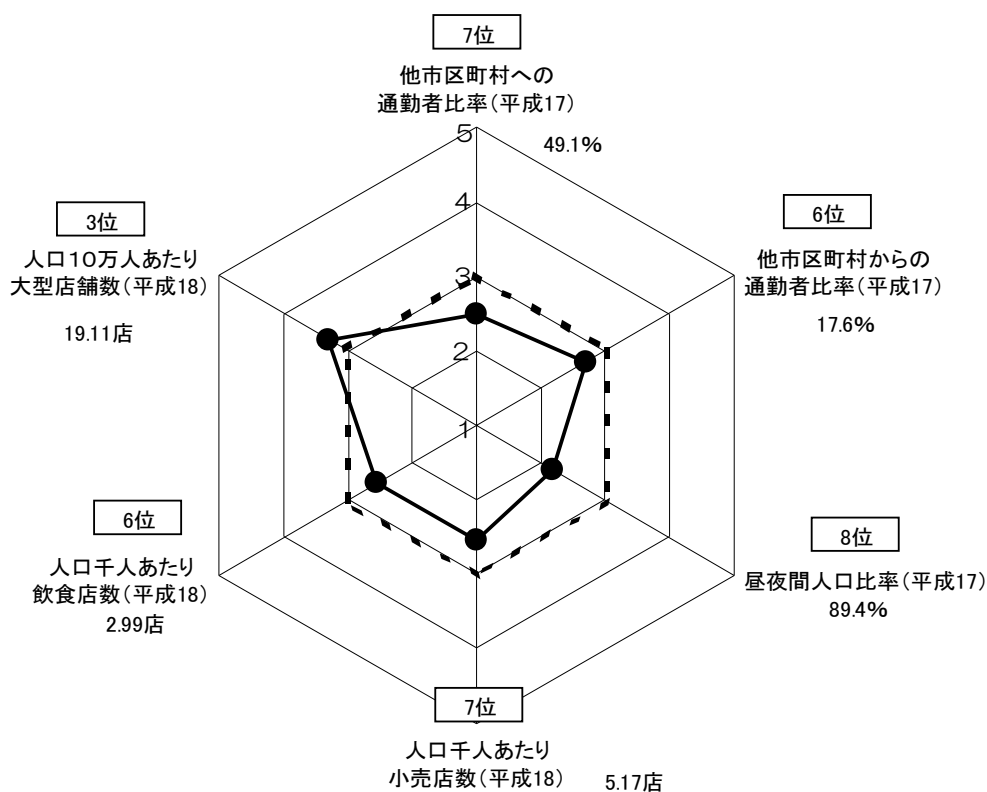
- 【市域に占める可住地面積割合】について、江別市は 89.3%と8市の中で、最も高く、多くの市域面積で暮らすことが可能であり、林野が多い北海道においては、恵まれています(8市平均は、47.0%)。
- 【可住地に占める市街化区域面積割合】は、17.5%で平均を少し下回っていますが、これは、市街地がコンパクトにまとまっていると考えられます(8市平均は、20.2%)。
- 【人口集中地区人口比率】について、江別市は 90.2%となっており、人口の9割が都市化された区域に集中しており、コンパクトで、暮らしやすい土地利用がされていると考えられます。本市と同様に、9割以上となっている自治体は、恵庭市です。逆に6割程度になっている自治体は、岩見沢市、北見市です(8市平均は79.9%)。
- 【人口集中地区人口密度】について、江別市は1km<sup>2</sup>あたり4,460.6人が住み、8市の中では、ほぼ平均的です(8市平均は4,491.7人/km<sup>2</sup>)。

### 3 経済基盤分野



- 【1世帯あたり課税対象所得額】について、江別市は2,627.4千円で、8市平均をやや上回っています（8市平均は、2,500.6千円）。
- 【人口千人あたり商業年間商品販売額】について、江別市は1,119百万円で、8市で最も少なく、8市平均の半分程度となっています（8市平均は、2,341百万円）。  
参考：1位北見市（4,346百万円）2位岩見沢市（3,165百万円）
- 【人口千人あたり事業所数】について、江別市は7位、【人口千人あたり従業者数】について、江別市は8位となっており、2指標とも8市で比較して低く、市内で働く場が少ない状況を示しています。本指標値により、にぎわい・交流の昼間人口が少なくなる原因となっています。  
参考：<事業所数>  
1位 小樽市（48.6事業所）・・・観光等での小売業、サービス業数が多い  
2位 北見市（47.9事業所）・・・地域の中核機能を果たしている  
参考：<従業者数>  
1位 千歳市（515.6人）・・・空港、自衛隊基地等が影響  
2位 北見市（437.7人）・・・地域の中核機能を果たしている
- 【人口千人あたり観光入込客数】について、江別市は6.1千人で、8市で最も少なく、8市平均の1/4程度となっています。（8市平均は、24.1千人）。  
参考：1位 千歳市（52.3千人）・・・平成17年の大型アウトレットモール開業で倍増  
2位 小樽市（50.6千人）・・・道内観光の周遊観光ルート（日帰り）
- 【人口千人あたり農業産出額】、【人口千人あたり製造品出荷額等】についても、8市の中では、少ない傾向にあります。

#### 4 にぎわい・交流分野

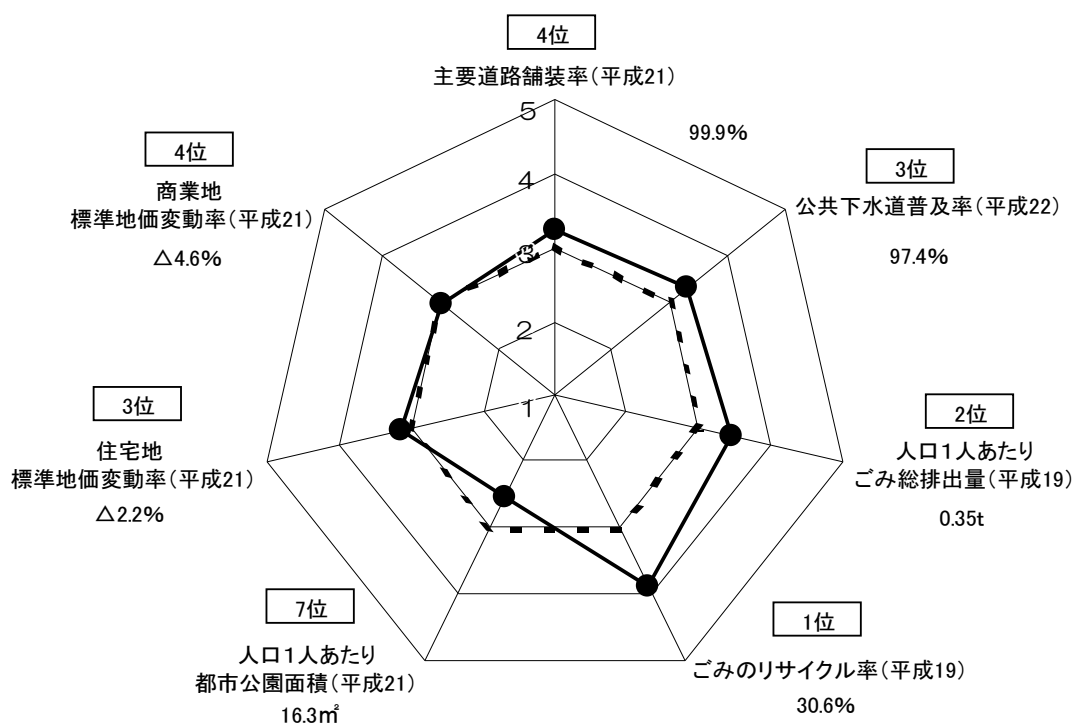


- **【昼夜間人口比率】**は、昼間と夜間の人口の差を示したもので、100%以上なら、多くの方が昼間は市内に集まり、100%以下なら昼間は市外へ就労していることを表すものです。江別市は89.4%で、8市で最も低くなっています（8市平均は、97.7%）。この原因としては、**【他市区町村への通勤者比率】**が高く、**【他市町村からの通勤者比率】**が低いことが影響しています。この3指標値の傾向は、本市のベッドタウンとしての特徴を示しています。

参考：昼間に他市より人が集っている自治体（小樽市、千歳市、石狩市）

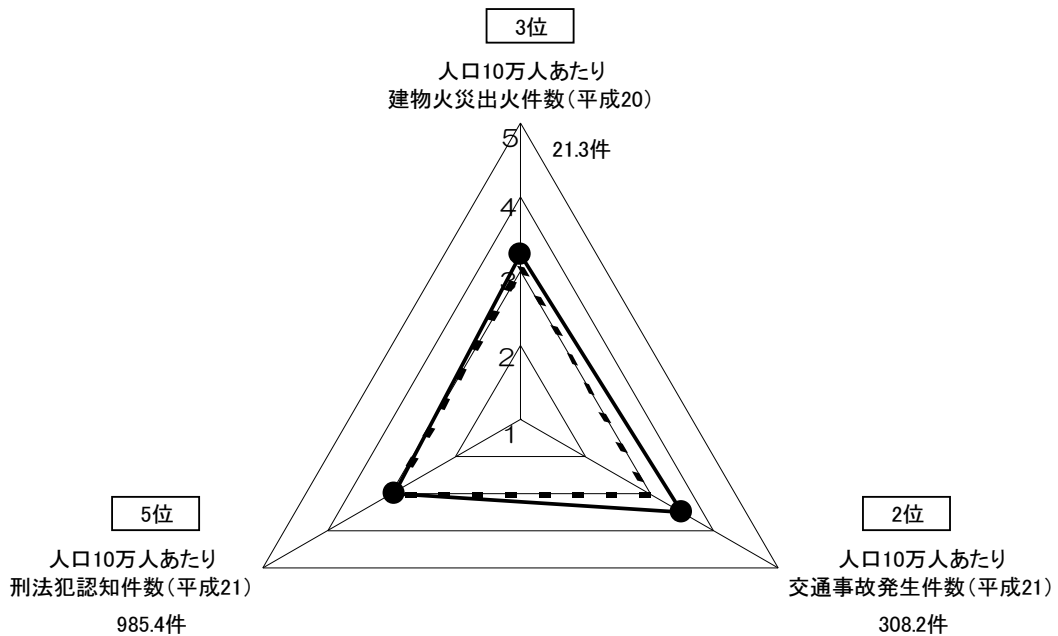
- **【人口千人あたり小売店数】**、**【人口千人あたり飲食店数】**について、江別市は共に少ない状況です。この原因は上記の昼間の人口が少ないため、市場が小さい（顧客が少ない）ことに起因すると思われます。
- **【人口10万人あたり大型店舗数】**について、通常の小売店や飲食店が8市の中で少ない状況にあるにもかかわらず、江別市は19.11店で平均を上回っています（8市平均は、17.19店）。

## 5 生活基盤分野（地価含む）



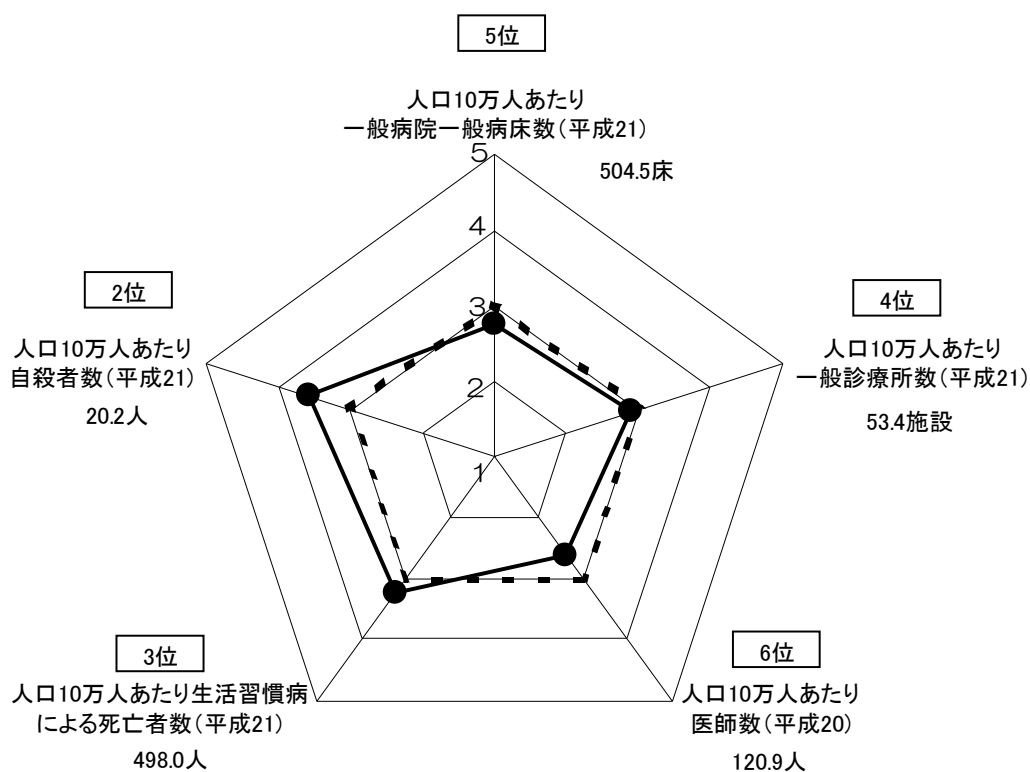
- **【ごみのリサイクル率】**について、江別市は 30.6%で、8市の中で、最も進んでいます（8市平均は、21.5%）。
- **【人口1人あたりごみ総排出量】**については、江別市は 0.35 tで、8市の中では、2位となっています（8市平均は、0.40 t）。ごみのリサイクル率とあわせて、江別市は、8市の中では、環境にやさしいまちといえます。
- 住宅等の資産価値を示す**【標準地価変動率】**については、低迷する景気等により、平成20年と平成21年の比較では、多くの自治体で下落傾向が続いており、江別市も8市の中では平均的下落率となっています。  
参考：住宅地標準地価変動率で上昇した自治体・・・北広島市  
商業地標準地価変動率で上昇した自治体・・・岩見沢市、北見市
- **【人口1人あたり都市公園面積】**について、江別市は 16.3 m<sup>2</sup>で、8市の中で、少ない傾向にあります。本指標には、統計上の公園区分の関係で森林公園の面積や河川の緑地部分が含まれていません。野幌森林公園を含めた江別市における人口1人あたりの公園面積は、167.5 m<sup>2</sup>となり、8市平均（都市公園）の 27.0 m<sup>2</sup>と比較して6倍以上の市民が憩える公園を有していることとなります。
- **【公共下水道普及率】**について、江別市は 97.4%で、3位であり、やや平均を上回っています（8市平均 94.7%）。

## 6 安全分野



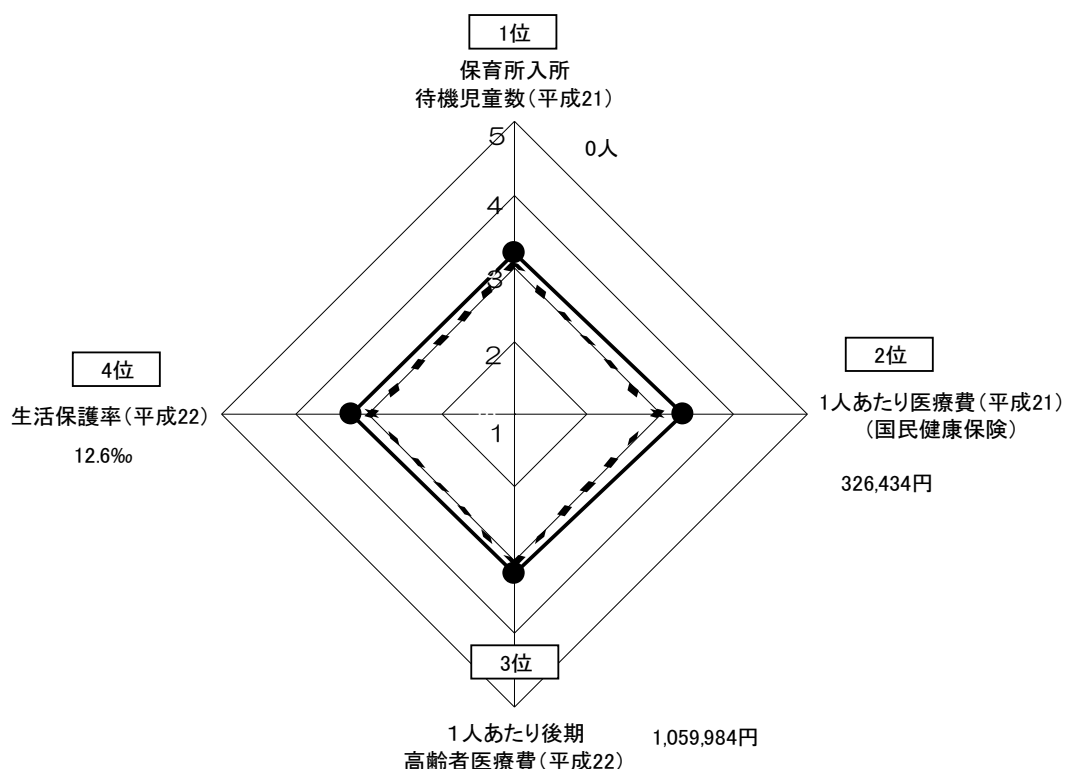
- 【人口10万人あたり交通事故発生件数】について、江別市は308.2件で、8市の中で、事故発生件数が少なくなっています（8市平均は、352.2件）。
- 【人口10万人あたり建物火災出火件数】について、江別市は21.3件で、8市平均より、やや建物火災出火件数が少なくなっています（8市平均は23.6件）。
- 【人口10万人あたり刑法犯認知件数】について、江別市は985.4件で、8市平均より、やや犯罪発生件数が多くなっています（8市平均は、949.2件）。

## 7 健康・医療分野



- **【人口10万人あたり自殺者数】**については、江別市は、20.2人で、8市の中で少ない(良い)状況にあります(8市平均は25.2人)。
- **【人口10万人あたり一般病院一般病床数】**については、江別市は、504.5床で、8市の中では、5位となっています。8市平均は654.2床で、平均をやや下回っている状況です。ただし、病院については、住居からの距離が重要であり、札幌市の病院が江別市民にとっては近い場合もあることから、医療圏として充足しているかどうかで見るべきであり、単に市内に病床数が少ないということが弱みとは言いきれません。
- **【人口10万人あたり医師数】**については、江別市は120.9人で、8市の中では、少ない状況にあります(8市平均は、158.8人)。**【人口10万人あたり一般診療所数】**がほぼ平均的であることから、病院の規模や診療科目等が影響していると考えられます。
- **【人口10万人あたり生活習慣病による死亡者数】**は、統計データの関係から、がん、糖尿病、心疾患(高血圧性除く)、脳血管疾患の4種の数値で比較をしています。江別市は、498.0人で、8市の中では、平均よりやや良い傾向にあります(8市平均は555.3人)。生活習慣病による死亡者数が多い自治体は、小樽市(833.5人)、岩見沢市(672.6人)となっています。

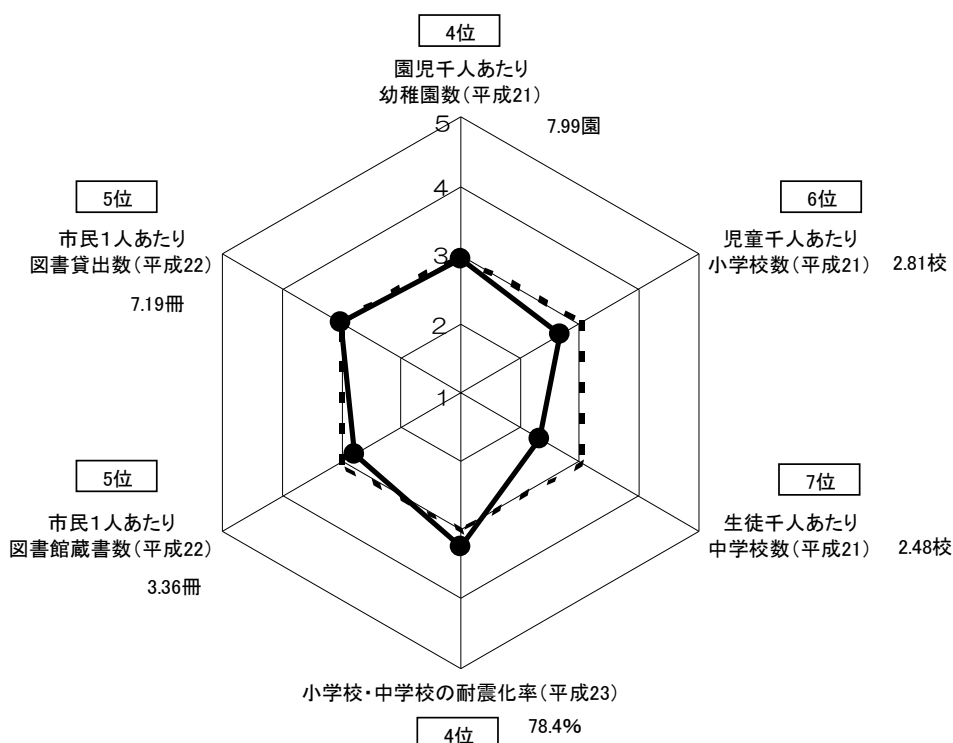
## 8 福祉・社会保障分野



- 福祉・社会保障の全指標において、8市平均をやや上回っています。
- 【保育所入所待機児童数】については、江別市は、0人で、8市の中で待機児童があるのは、石狩市（48人）のみとなっています。  
※4月1日現在の国基準による調査数値です。
- 【生活保護率】は、‰（パーミル）という千分率（1,000名のうち何名が該当するか）で示しています。江別市は、12.6‰で、8市の中で平均より生活保護を受ける方がやや少ない状況となっています（8市平均は、17.2‰）。
- 【1人あたり医療費（国民健康保険）】、【1人あたり後期高齢者医療費】については、江別市は、8市平均に比べてやや少ない状況となっています。  
参考：8市平均の1人あたり医療費（国民健康保険）…… 345,691円  
8市平均の1人あたり後期高齢者医療費……1,089,161円

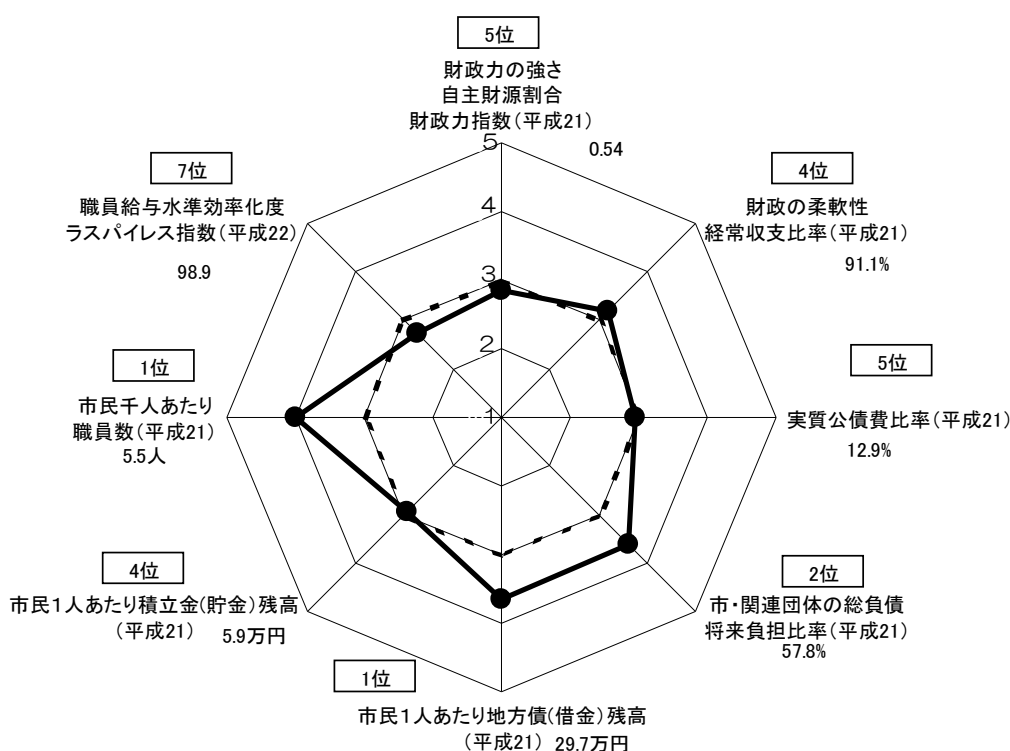


## 9 教育分野



- **【児童千人あたり小学校数】、【生徒千人あたり中学校数】**については、江別市は、8市平均を下回っています。ただし、江別市では、小学校、中学校ともに適正な学級数を確保することが望ましいことから、12～18学級を適正規模としており、単に児童生徒数に対する学校数が少ないということが弱みとは言い切れません。
- **【小学校・中学校の耐震化率】**について、江別市は78.4%で、8市平均72.3%を上回っています（参考 全国平均80.3%）。
- **【市民1人あたり図書館蔵書数】**について、江別市は3.36冊で、8市平均よりやや少なくなっています（8市平均は、3.82冊）。ただし自治体によるばらつきが大きくなっています。  
参考：1位 北見市（5.67冊） 8位 小樽市（2.12冊）
- **【市民1人あたり図書貸出数】**について、江別市は7.19冊で、8市平均とほぼ同じです（8市平均は、7.16冊）。ただし自治体によるばらつきが大きくなっています。  
参考：1位 石狩市（10.57冊） 8位 小樽市（3.02冊）

## 10 行政基盤分野



- 【市民1人あたり地方債(借金)残高】、【市・関連団体の総負債・将来負担比率】は、借金額の多寡を示す指標であり、江別市は8市の中で、最も借金が少ない自治体といえます。

参考：①市民1人あたり地方債(借金)残高

1位 江別市(29.7万円) 8位 北見市(66.7万円)

②市・関連団体の総負債・将来負担比率(数値が大きいほど負債が多い傾向)

1位 岩見沢市(55.1%) 8位 石狩市(166.1%)




- 【市民千人あたり職員数】について、江別市は5.5人で、8市の中で最も少ない職員数で、自治体経営を担っています(8市平均は、6.8名)。人口10万人と考えた場合、8市平均との差は、130名少ない職員数で担っていると考えられます。
- 【職員給与水準効率化度・ラスパイレス指数】は、国家公務員の給与水準を100としたときの各市の給与水準を示すものです。江別市は98.9であり、国家公務員の給与水準より低い状況ですが、8市平均97.7より少し高い状況となっています。なお、市の財政状況の悪化により職員給与の削減を行っている市もあることから、8市の平均値は下がる傾向にあります。

## IV 資料編

### 1 分野別比較都市指標一覧表



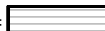
#### <人口・世帯>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
年少人口割合 (15歳未満)	平成22	%	12.2	9.9	12.2	11.4	14.8	14.0	13.4	13.6
高齢者人口割合 (65歳以上)	平成22	%	21.8	31.5	25.4	27.8	17.4	20.8	22.4	23.1
人口増加率	平成17- 平成22	%	-1.50	-7.20	-2.84	-3.77	2.37	2.62	-0.53	-1.09
社会増加率	平成22	%	-0.07	-0.60	-0.31	-0.31	0.08	0.31	-0.17	-0.12
合計特殊出生率	平成15~ 平成19	(人)	1.04	1.04	1.26	1.22	1.49	1.36	1.13	1.22
1世帯あたり人員	平成22	人	2.37	2.21	2.19	2.37	2.32	2.43	2.55	2.58
単身世帯割合	平成22	%	29.7	32.8	34.7	28.2	32.7	27.8	20.4	20.0
独居高齢者割合	平成22	%	8.5	15.9	10.0	11.9	7.4	7.6	8.0	8.3

江別市 =  1位 =  最下位 = 




#### <都市形成>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
市域に占める 可住地面積割合	平成22	%	89.3	33.1	30.2	66.3	32.6	32.9	61.1	30.8
市域に占める 市街化区域面積割合	平成22	%	15.7	17.5	2.8	6.6	5.3	6.3	14.6	3.9
市域に占める 人口集中地区 面積割合	平成22	%	13.3	9.8	1.4	3.0	5.5	4.7	7.9	1.0
可住地に占める 市街化区域面積割合	平成22	%	17.5	52.9	9.4	10.0	16.4	19.1	23.8	12.6
可住地に占める 人口集中地区 面積割合	平成22	%	14.9	29.6	4.7	4.6	16.9	14.3	12.9	3.1
人口集中地区 人口比率	平成22	%	90.2	86.3	66.2	61.9	84.4	90.7	84.9	74.6
人口集中地区 人口密度	平成22	人/km <sup>2</sup>	4,460.6	4,775.5	4,096.0	3,802.0	2,415.9	4,531.7	5,470.3	6,381.4
可住地面積あたり 人口密度	平成22	人/km <sup>2</sup>	738.9	1,637.2	291.6	282.8	483.1	714.5	833.5	267.6

江別市 =  1位 =  最下位 = 




### <経済基盤>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
人口千人あたり 商業年間商品販売額	平成18	百万円	1,119	2,097	4,346	3,165	1,818	1,220	2,237	2,728
人口千人あたり 事業所数	平成18	事業所	27.1	48.6	47.9	38.3	33.7	28.2	24.2	33.9
人口千人あたり 従業者数	平成18	人	261.5	428.8	437.7	369.3	515.6	364.2	349.7	416.2
人口千人あたり 製造品出荷額等	平成20	百万円	873.7	1,236.3	1,082.1	724.8	2,443.5	1,971.6	1,077.4	1,823.5
人口千人あたり 農業産出額	平成18	百万円	49.9	5.4	241.7	202.7	142.6	82.4	73.4	70.1
人口千人あたり 観光入込客数	平成22	千人	6.1	50.6	11.5	13.0	52.3	17.6	13.0	29.0
1世帯あたり 課税対象所得額	平成21	千円	2,627.4	2,028.2	2,335.8	2,269.4	2,765.8	2,752.6	2,808.2	2,417.5

江別市=  1位=  最下位= 




### <にぎわい・交流>

指標名	取得年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
他市区町村への 通勤者比率	平成17	%	49.1	15.9	9.9	25.8	14.3	36.8	57.0	48.0
他市区町村からの 通勤者比率	平成17	%	17.6	16.8	8.8	18.2	27.6	22.8	44.3	52.6
昼夜間人口比率	平成17	%	89.4	100.9	99.9	96.1	105.6	93.4	94.4	101.9
人口千人あたり 小売店数	平成18	店	5.17	11.57	9.21	7.97	7.46	5.72	4.38	5.89
人口千人あたり 飲食店数	平成18	店	2.99	7.61	6.36	5.50	7.40	3.98	2.04	2.94
人口10万人あたり 大型店舗数	平成18	店	19.11	15.48	20.87	17.08	18.59	13.31	21.42	11.65

江別市=  1位=  最下位= 




## <生活基盤>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
主要道路舗装率	平成21	%	99.9	100.0	99.1	99.5	96.7	100.0	100.0	99.8
公共下水道普及率	平成22	%	97.4	98.6	94.0	85.5	98.0	97.2	96.5	90.4
人口1人あたり ごみ総排出量	平成19	t	0.35	0.40	0.40	0.46	0.50	0.35	0.40	0.33
ごみのリサイクル率	平成19	%	30.6	20.9	19.6	18.0	13.6	24.3	18.0	26.7
人口1人あたり 都市公園面積	平成21	m <sup>2</sup>	16.3	9.7	24.8	40.6	44.3	20.4	38.0	22.2
住宅地 標準地価変動率	平成21	%	-2.2	-5.1	-4.2	-5.5	-3.1	-1.2	5.3	-11.7
商業地 標準地価変動率	平成21	%	-4.6	-15.7	4.5	16.2	-16.7	-4.8	-2.9	-6.9

江別市 =  1位 =  最下位 = 

## <安全>

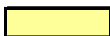


指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
人口10万人あたり 建物火災出火件数	平成20	件	21.3	33.9	26.2	24.1	15.1	21.9	26.3	19.6
人口10万人あたり 交通事故発生件数	平成21	件	308.2	371.2	319.4	284.9	433.9	364.6	408.4	327.3
人口10万人あたり 刑法犯認知件数	平成21	件	985.4	671.4	694.6	879.0	1,268.3	1,099.6	889.2	1,106.2

江別市 =  1位 =  最下位 = 

## <健康・医療>



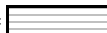
指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
人口10万人あたり 一般病院一般病床数	平成21	床	504.5	1,069.0	1,078.1	796.5	446.1	815.5	180.2	343.4
人口10万人あたり 一般診療所数	平成21	施設	53.4	74.3	50.2	63.1	57.1	43.9	49.6	50.3
人口10万人あたり 医師数	平成20	人	120.9	239.5	190.5	198.5	132.3	185.7	95.6	107.0
人口10万人あたり 生活習慣病※による 死亡者数	平成21	人	498.0	833.5	507.2	672.6	433.2	448.0	499.2	551.1
人口10万人あたり 自殺者数	平成21	人	20.2	24.0	31.9	25.4	22.6	30.7	19.8	26.8

※生活習慣病は悪性新生物、糖尿病、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患の4つ。

江別市 =  1位 =  最下位 = 




<福祉・社会保障>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
保育所入所 待機児童数	平成21	人	0	0	0	0	0	0	0	48
1人あたり医療費 (国民健康保険)	平成21	円	326,434	426,964	321,666	349,651	337,058	330,745	341,309	331,701
1人あたり 後期高齢者医療費	平成22	円	1,059,984	1,106,916	935,641	1,003,909	1,139,467	1,073,448	1,183,546	1,210,376
生活保護率	平成22	% 千分率	12.6	40.1	14.9	25.1	12.1	13.9	9.4	9.4

江別市 =  1位 =  最下位 = 

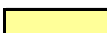

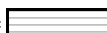
<教育>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
園児千人あたり 幼稚園数	平成21	園	7.99	13.59	10.70	7.24	5.48	5.76	8.12	7.49
児童千人あたり 小学校数	平成21	校	2.81	4.67	4.25	3.37	2.98	1.94	2.80	4.15
生徒千人あたり 中学校数	平成21	校	2.48	4.80	4.49	4.13	3.23	2.31	3.79	4.69
小学校・中学校の 耐震化率	平成23	%	78.4	50.5	53.8	73.2	86.0	66.0	84.4	86.3
市民1人あたり 図書館蔵書数	平成22	冊	3.36	2.12	5.67	3.12	2.96	3.90	4.92	4.49
市民1人あたり 図書貸出数	平成22	冊	7.19	3.02	7.03	4.30	7.34	8.94	8.87	10.57

江別市 =  1位 =  最下位 = 

<行政基盤>

指標名	調査年	単位	江別市	小樽市	北見市	岩見沢市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市
財政力の強さ 自主財源割合 財政力指数	平成21		0.54	0.48	0.48	0.40	0.80	0.65	0.68	0.56
財政の柔軟性 経常収支比率	平成21	%	91.1	98.1	92.8	92.2	90.2	90.3	92.2	88.8
実質公債費比率	平成21	%	12.9	15.5	14.8	14.0	11.4	12.1	8.3	12.2
市・関連団体の 総負債 将来負担比率	平成21	%	57.8	118.8	128.3	55.1	108.4	101.3	68.9	166.1
市民1人あたり 地方債(借金)残高	平成21	万円	29.7	42.0	66.7	54.9	39.1	36.9	35.0	53.4
市民1人あたり 積立金(貯金)残高	平成21	万円	5.9	1.6	10.1	13.9	6.1	2.5	5.0	4.8
市民千人あたり 職員数	平成21	人	5.5	7.8	7.3	6.3	7.2	6.7	7.0	6.9
職員給与水準 効率化度 ラスパイレス指数	平成22		98.9	91.7	97.1	98.4	98.7	98.7	98.6	99.3

江別市 =  1位 =  最下位 = 

## 2 社会指標出典一覧表

分野	指標名	出典
人口・世帯	年少人口割合(15歳未満)	平成22年国勢調査
	高齢者人口割合(65歳以上)	平成22年国勢調査
	人口増加率	平成22年国勢調査 ※平成17年度と平成22年度の2点比較
	社会増加率	総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	合計特殊出生率	厚生労働省「平成15年～平成19年人口動態統計調査」
	1世帯あたり人員	平成22年国勢調査
	単身世帯割合	平成22年国勢調査
	独居高齢者割合	平成22年国勢調査
都市形成	市域に占める可住地面積割合	国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」(2010) 総務省「統計でみる市区町村のすがた2011」(2009)
	市域に占める市街化区域面積割合	各市のホームページ(都市計画関連) 国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」(2010)
	市域に占める人口集中地区面積割合	平成22年国勢調査 国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」
	可住地に占める市街化区域面積割合	平成22年国勢調査 国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」
	可住地に占める人口集中地区面積割合	平成22年国勢調査
	人口集中地区人口比率	平成22年国勢調査
	可住地面積あたり人口密度	平成22年国勢調査
	人口集中地区人口密度	平成22年国勢調査
経済基盤	人口千人あたり商業年間商品販売額	総務省「都道府県・市区町村の姿」(経済産業省 商業統計調査) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	人口千人あたり事業所数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 事業所・企業統計調査) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	人口千人あたり従業者数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 事業所・企業統計調査) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	人口千人あたり製造品出荷額等	総務省「都道府県・市区町村の姿」(経済産業省 工業統計調査)
	人口千人あたり農産物産出額	総務省「都道府県・市区町村の姿」(農林水産省 生産農業所得統計)
	人口千人あたり観光入込客数	北海道「観光入込客数調査報告書」 平成22年国勢調査
	1世帯あたり課税対象所得額	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 市町村税課税状況調) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
にぎわい・交流	他市区町村への通勤者比率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(平成17年国勢調査)
	他市区町村からの通勤者比率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(平成17年国勢調査)
	昼夜間人口比率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(平成17年国勢調査)
	人口千人あたり小売店数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 事業所・企業統計調査)
	人口千人あたり飲食店数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 事業所・企業統計調査)
	人口10万人あたり大型店舗数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 事業所・企業統計調査)
生活基盤	主要道路舗装率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(国土交通省 道路統計年報)
	公共下水道普及率	北海道「下水道処理人口普及率」
	人口1人あたりごみ総排出量	総務省「都道府県・市区町村の姿」(環境省 日本の廃棄物処理)
	ごみのリサイクル率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(環境省 日本の廃棄物処理)
	人口1人あたり都市公園面積	国土交通省「都市公園等整備の現況」
	住宅地 標準地価変動率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(国土交通省 地価調査)
	商業地 標準地価変動率	総務省「都道府県・市区町村の姿」(国土交通省 地価調査)
安全	人口10万人あたり建物火災出火件数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(総務省 火災年報) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	人口10万人あたり交通事故発生件数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(警察庁 交通統計) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」
	人口10万人あたり刑法犯認知件数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(警察庁 犯罪統計書) 総務省「住民基本台帳に基づく人口・世帯数及び人口動態」

分野	指標名	出典
健康・医療	人口10万人あたり一般病院一般病床数	北海道「北海道保健統計年報」
	人口10万人あたり一般診療所数	北海道「北海道保健統計年報」
	人口10万人あたり医師数	北海道「北海道保健統計年報」
	人口10万人あたり生活習慣病による死亡者数	北海道「北海道保健統計年報」
	人口10万人あたり自殺者数	北海道「北海道保健統計年報」
福祉・社会保障	保育所入所待機児童数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(厚生労働省 保育所入所待機児童数調査)
	1人あたり医療費(国民健康保険)	国民健康保険中央会「国民健康保険の実態」
	1人あたり後期高齢者医療費	北海道「北海道の後期高齢者医療」
	生活保護率	厚生労働省「第64 回被保護者全国一斉調査(基礎調査)」 平成22年国勢調査
教育	園児千人あたり幼稚園数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(文部科学省 学校基本調査)
	児童千人あたり小学校数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(文部科学省 学校基本調査)
	生徒千人あたり中学校数	総務省「都道府県・市区町村の姿」(文部科学省 学校基本調査)
	小学校・中学校の耐震化率	文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」
	市民1人あたり図書館蔵書数	北海道「北海道の図書館 統計」
	市民1人あたり図書貸出数	北海道「北海道の図書館 統計」
行政基盤	財政力の強さ・自主財源割合・財政力指数	総務省「市町村別決算状況調」
	財政の柔軟性・経常収支比率	総務省「市町村別決算状況調」
	実質公債費比率	総務省「市町村別決算状況調」
	市・関連団体の総負債・将来負担比率	総務省「市町村別決算状況調」
	市民1人あたり地方債(借金)残高	総務省「市町村別決算状況調」
	市民1人あたり積立金(貯金)残高	総務省「市町村別決算状況調」
	市民千人あたり職員数	総務省「市町村別決算状況調」
	職員給与水準効率化度・ラスパイレス指数	北海道「地方公務員給与実態調査に係るラスパイレス指数等について」

### 3 分析に活用した年度別人口一覧表

単位:人

年度	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出典	国勢調査	住基人口 年度末(3.31)	住基人口 年度末(3.31)	住基人口 年度末(3.31)	住基人口 年度末(3.31)	国勢調査
江別市	125,601	123,086	123,012	122,344	121,987	123,722
小樽市	142,161	139,712	137,693	135,500	133,604	131,928
北見市	129,365	127,599	126,508	125,977	125,545	125,689
岩見沢市	93,677	92,799	91,915	91,191	90,553	90,145
千歳市	91,437	92,094	92,323	92,732	93,117	93,604
恵庭市	67,614	67,969	68,469	68,483	68,571	69,384
北広島市	60,677	61,072	60,987	60,802	60,729	60,353
石狩市	60,104	61,328	61,367	61,191	61,109	59,449

分析にあたっては、国勢調査実施年については、国勢調査人口を活用し、それ以外については、基本的に住民基本台帳の年度末(3月31日)の人口を活用しています。

※ただし同一統計表内に人口が示されている場合は、その人口で分析を実施